オールデバイス株式会社
〒273-0105 千葉県鎌ケ谷市鎌ヶ谷 5-5-71 Tel:047-489-5939 Email:info.jp@asll-device.com https://all-device.com

超低温タイプサーミスタプローブ
NTC シリーズ

アプリケーション

全ての極低温タイプのサーミスタプローブは、25℃（室温）から−196℃（液体窒素の沸点）の範囲で使用する様に設計されています。これらのユニットは非常に安定しており、ヒステリシス効果を示しません。及び 25℃～−196℃への急速な温度サイクルは、電気的、熱的または機械的特性に測定可能な影響を与えません。
これらのユニットは、25℃～−196℃の範囲の液面等の極低温制御アプリケーションに最適です。それらは適切な機器を使用して、窒素ポイントより低い温度で使用できます。

概要

極低温サーミスタプローブは、＃27AWG 銀リード線に取り付けられたプレスディスクサーミスタで構成されています。

データ

極低温タイプのサーミスタプローブは、105℃に短時間さらされる可能性があります。但し、60℃以上での長期保管は抵抗変化を引き起こす可能性が有ります。最高の安定性を得るには、60℃未満での保管をお勧めします。

超低温　仕様書

熱的及び電気的特性

表 A:RL 極低温

タイプ係数	液体での操作	抵抗（Ω）	温度係数 %/K	Fig	Diss. Constant mW/K
RL1004-10K-0-S1	酸素	10K ±20%	-8.4	1	4
	窒素	31.5K Nominal	-10.4		

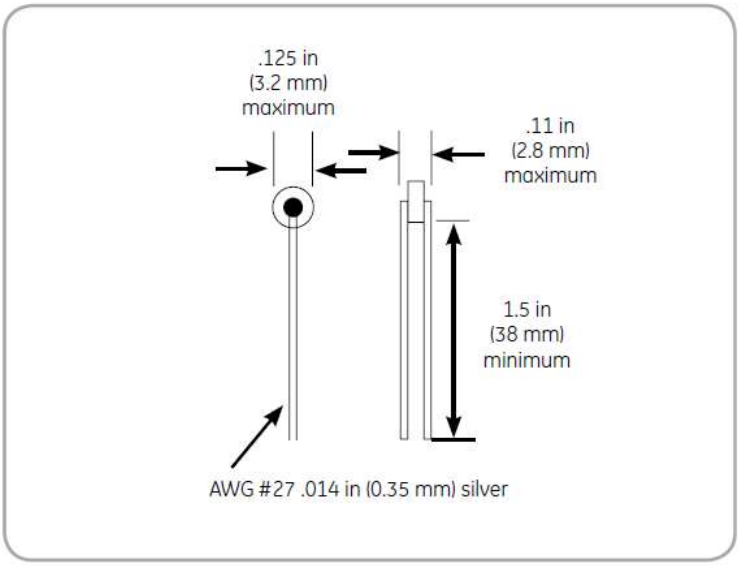

Figure 1

極低温プローブ-タイプ RL

これらの極低温サーミスタは、様々な極低温液体の液面検出に非常に役立ちます。このアプリケーションでは、ユニットに小さな電流を流すことにより、サーミスタがわずかに自己発熱します。ユニットで発生した熱はサーミスタが極低温流体に浸されている場合、液面がサーミスタを下回っている場合よりも簡単に解放されます。結果として生じるサーミスタ温度の変化は、抵抗の変化によって簡単に検出されます。

オールデバイス株式会社
〒273-0864 千葉県船橋市北本町 1-17-25 ベンチャープラザ船橋 222　Tel:047-489-5939　Email:info.jp@asll-device.com